

令和7年6月27日  
302会議室

令和7年第12回  
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

## 令和7年第12回立川市教育委員会定例会

- 1 日 時 令和7年6月27日(金)  
開 会 午後 1 時 3 0 分  
閉 会 午後 3 時 1 2 分  
休 憩① 午後 3 時 0 4 分 ~ 午後 3 時 0 5 分

- 2 場 所 302会議室

### 3 出席者

教育長	飯 田 芳 男	
教育委員	岡 村 幸 保	伊 藤 憲 春
	小 柳 郁 美	堀 切 菜 摘
署名委員	伊 藤 憲 春	

### 4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	齋藤 真志	教育総務課長	白井 隆行
学務課長	澤田 克己	指導課長	寺田 良太
統括指導主事	石井 和成	統括指導主事	野津 公輝
教育支援課長	高橋 周	学校給食課長	近藤 忠良
生涯学習推進センター長	鈴木 峰宏	図書館長	黒島 秀和

### 5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係	和田 健治	齋藤 綾乃
----------	-------	-------

## 案 件

### 1 議案

- (1) 議案第22号 懲戒等について
- (2) 議案第23号 立川市教育委員会の教育目標（案）
- (3) 議案第24号 立川市第4次学校教育振興基本計画（案）
- (4) 議案第25号 立川市第4次特別支援教育実施計画（案）
- (5) 議案第26号 学校給食費の改定について（諮問）
- (6) 議案第27号 立川市第7次生涯学習推進計画（案）
- (7) 議案第28号 立川市第4次図書館基本計画（案）
- (8) 議案第29号 立川市第5次子ども読書活動推進計画（案）

### 2 協議

- (1) 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（案）について

### 3 その他

## 令和7年第12回立川市教育委員会定例会議事日程

令和7年6月27日

302会議室

### 1 議案

- (1) 議案第22号 懲戒等について
- (2) 議案第23号 立川市教育委員会の教育目標（案）
- (3) 議案第24号 立川市第4次学校教育振興基本計画（案）
- (4) 議案第25号 立川市第4次特別支援教育実施計画（案）
- (5) 議案第26号 学校給食費の改定について（諮問）
- (6) 議案第27号 立川市第7次生涯学習推進計画（案）
- (7) 議案第28号 立川市第4次図書館基本計画（案）
- (8) 議案第29号 立川市第5次子ども読書活動推進計画（案）

### 2 協議

- (1) 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（案）について

### 3 その他

---

◎開会の辞

○飯田教育長 ただいまから、令和7年第12回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 はい。

○飯田教育長 よろしくをお願いいたします。

本日は、議案8件、協議1件でございます。その他は議事進行過程で確認をいたします。

次に、議事進行についてお諮りいたします。1議案（1）議案第22号、懲戒等について、は人事案件でございますので、非公開として取り扱いたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。それでは、1議案（1）議案第22号、懲戒等について、は3その他の終了後に非公開として取り扱います。

次に、出席者の確認を行います。齋藤教育部長、お願いいたします。

○齋藤教育部長 本日、第12回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、石井統括指導主事、野津統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長、以上でございます。

---

◎議 案

（2）議案第23号 立川市教育委員会の教育目標（案）

○飯田教育長 それでは、1議案（2）議案第23号、立川市教育委員会の教育目標（案）を議題といたします。

臼井教育総務課長、説明をお願いいたします。

○臼井教育総務課長 議案第23号、立川市教育委員会の教育目標（案）についてご説明いたします。

立川市教育委員会の教育目標につきましては、令和7年第9回教育委員会定例会で改定案についてご協議いただいた後、6月の市議会文教委員会でご報告いたしました。

文教委員会では、パブリックコメントに関してのご質問が1名の委員からございましたが、教育目標の内容等に関するご質問ではございませんでした。このため、事務局といたしましては、第9回教育委員会定例会でご協議いただいた内容のまま、前回から変更なしということで最終的な教育目標（案）とすることにいたしました。

ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

岡村委員。

○岡村委員 説明ありがとうございました。

この件に関しては、定例会で話し合いを重ねて、いろいろな意見を取り入れたことで、完成度が高くなったと思います。ありがとうございました。

○飯田教育長 ありがとうございます。

ほかございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございます。それではお諮りいたします。1議案（2）議案第23号、立川市教育委員会の教育目標（案）は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。よって、1議案（2）議案第23号、立川市教育委員会の教育目標（案）は承認されました。

---

## ◎議 案

### （3）議案第24号 立川市第4次学校教育振興基本計画（案）

○飯田教育長 続きまして、1議案（3）議案第24号、立川市第4次学校教育振興基本計画（案）を議題といたします。

臼井教育総務課長、説明をお願いいたします。

○臼井教育総務課長 議案第24号、立川市第4次学校教育振興基本計画（案）について、ご説明いたします。

立川市第4次学校教育振興基本計画につきましては、令和7年第9回教育委員会定例会で計画原案をお示しし、ご協議いただいた後、6月の市議会文教委員会でご報告いたしました。

文教委員会では、数名の委員からご質問がございましたが、いずれも個別の取組内容やパブリックコメントに関する回答案についてのご質問だったため、計画内容に変更、影響があるようなご質問ではございませんでした。

このため、事務局といたしましては、計画原案から変更なしで、立川市第4次学校教育振興基本計画（案）といたしました。

ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

伊藤委員。

○伊藤委員 ご説明ありがとうございました。

内容についてではないのですが、立川市第4次学校教育振興基本計画の41ページには、時間外在校等時間が1か月あたり45時間超の教員は令和5年度には64%で、目標値が0%ということになっています。しかし、今回の点検・評価の資料の11ページでは1か月あたり80時間という指標になっています。何か理由があってこの差が生まれたのでしょうか。

○飯田教育長 寺田指導課長。

○寺田指導課長 第4次学校教育振興基本計画の目標値に関しましては、都の目標値に準じてこの45時間超の教員が0%の目標に合わせているところです。

以上です。

○飯田教育長 よろしいでしょうか。

ほかございますか。

岡村委員。

○岡村委員 どうもありがとうございます。

この案に賛成ですけれども、特に、以前も発言させてもらったのですが、基本施策1の学力・体力の向上のところの指標の考え方が変更されて、前は平均正答率を基にという指標の書き方だったのですが総合的にみるような書き方に変えられて、いわゆる平均点だけではなくて、どういう問題ができていないのかというのを細かく分析して、できないところの問題を先生方みんなで検討して、前からももちろんそういう考え方の現場が多いのですが、現場では、やはりどうしても平均点や、うちの学校はほかの学校よりいいかどうかとか、そういうところが気になります。過度な競争になったりする傾向も、立川市でどうか分かりませんが、全国的にはあつたりするため、そういう点では、この指標の書き方がよくなって、正常になっている感じがして賛成です。このまま推進していただければと思います。

○飯田教育長 ありがとうございます。

ほかございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございます。それではお諮りいたします。1議案(3)議案第24号、立川市第4次学校教育振興基本計画(案)は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。よって、1議案(3)議案第24号、立川市第4次学校教育振興基本計画(案)は承認されました。

---

## ◎議 案

### (4) 議案第25号 立川市第4次特別支援教育実施計画(案)

○飯田教育長 続きまして、1議案(4)議案第25号、立川市第4次特別支援教育実施計画(案)を議題といたします。

高橋教育支援課長、説明をお願いいたします。

○高橋教育支援課長 それでは、議案第25号、立川市第4次特別支援教育実施計画(案)について、ご説明いたします。

立川市第4次特別支援教育実施計画につきましては、令和7年第9回教育委員会定例会で計画原案をお示しし、ご協議いただいた後、6月の市議会文教委員会にて報告いたしました。

文教委員会では、数名の委員から質問がございましたが、いずれも計画内容に影響があるような質問ではありませんでした。このため、事務局といたしましては、計画原案から変更なしで、立川市第4次特別支援教育実施計画（案）とすることといたしました。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

ご質疑ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございます。それではお諮りいたします。1議案（4）議案第25号、立川市第4次特別支援教育実施計画（案）は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。よって、1議案（4）議案第25号、立川市第4次特別支援教育実施計画（案）は承認されました。

---

## ◎議 案

### （5）議案第26号 学校給食費の改定について（諮問）

○飯田教育長 続きまして、1議案（5）議案第26号、学校給食費の改定について（諮問）、を議題といたします。

近藤学校給食課長、説明をお願いいたします。

○近藤学校給食課長 学校給食課より、議案第26号、学校給食費の改定について（諮問）についてご説明いたします。

現在の学校給食費につきましては、令和6年4月に改定を行い、食材料の購入を行ってまいりました。しかし、昨今の急激な物価高騰により運営が非常に厳しい状況となっており、特に精白米の急激な価格高騰は、市栄養士による献立の工夫による対応が困難なことも相まって、安定した学校給食の提供にとって大きな懸念材料となっております。

今後も給食水準を維持するため、学校給食費の改定について、立川市学校給食運営審議会に諮問するものであります。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

ご質疑ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございます。それではお諮りいたします。1議案（5）議案第26号、学校給食費の改定について（諮問）は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。よって、1議案（5）議案第26号、学校給食費の改定について（諮問）は承認されました。

---

◎議 案

（6）議案第27号 立川市第7次生涯学習推進計画（案）

○飯田教育長 続きまして、1議案（6）議案第27号、立川市第7次生涯学習推進計画（案）を議題といたします。

鈴木生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○鈴木生涯学習推進センター長 議案第27号、立川市第7次生涯学習推進計画（案）について、ご説明いたします。

立川市第7次生涯学習推進計画につきましては、令和7年第10回教育委員会定例会で計画原案をお示しし、ご協議いただいた後、6月の市議会文教委員会で報告いたしました。

文教委員会では、計画に関するご質問はございませんでした。このため、事務局といたしましては、計画原案から変更なしで、立川市第7次生涯学習推進計画（案）とすることといたしました。

ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

○飯田教育長 説明ありがとうございます。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

ご質疑よろしいでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございます。それではお諮りいたします。1議案（6）議案第27号、立川市第7次生涯学習推進計画（案）は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。よって、1議案（6）議案第27号、立川市第7次生涯学習推進計画（案）は承認されました。

---

◎議 案

（7）議案第28号 立川市第4次図書館基本計画（案）

○飯田教育長 続きまして、1議案（7）議案第28号、立川市第4次図書館基本計画（案）を議題といたします。

黒島図書館長、説明をお願いいたします。

○黒島図書館長 それでは、議案第28号、立川市第4次図書館基本計画（案）について、ご説明いたします。

立川市第4次図書館基本計画につきましては、令和7年第10回教育委員会定例会で計画原案をお示しし、ご協議いただいた後、6月の市議会文教委員会でご報告いたしました。

文教委員会では、1名の委員からご質問がございましたが、計画内容に影響があるような

ご質問ではありませんでした。このため、事務局といたしましては、計画原案から変更なしで、立川市第4次図書館基本計画（案）とすることといたしました。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

ご質疑よろしいでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございます。それではお諮りいたします。1議案（7）議案第28号、立川市第4次図書館基本計画（案）は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。よって、1議案（7）議案第28号、立川市第4次図書館基本計画（案）は承認されました。

---

## ◎議 案

### （8）議案第29号 立川市第5次子ども読書活動推進計画（案）

○飯田教育長 続きまして、1議案（8）議案第29号、立川市第5次子ども読書活動推進計画（案）を議題といたします。

黒島図書館長、説明をお願いいたします。

○黒島図書館長 議案第29号、立川市第5次子ども読書活動推進計画（案）について、ご説明いたします。

立川市第5次子ども読書活動推進計画につきましては、令和7年第10回教育委員会定例会で計画原案をお示しし、ご協議いただいた後、6月の市議会文教委員会でご報告いたしました。

文教委員会ではご質問はありませんでした。このため、事務局といたしましては、計画原案から変更なしで、立川市第5次子ども読書活動推進計画（案）とすることといたしました。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

岡村委員。

○岡村委員 この案に賛成です。特に、取組施策4の「すべての子どもが読書できる環境づくりへの取組」というところで、読書や図書館利用に支援が必要な子どもたちや本に触れる機会が少ない子どもたちに向けてもいろいろ努力していただけるという案で、素晴らしいと思います。

以前も発言しましたがけれども、不登校の子どもたちに対しても、何かいい案があったら、今後進めていただけると、現在非常に大きな課題ですので、助かります。よろしく願いします。意見です。

○飯田教育長 ほかいかがでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 ないようでございます。それではお諮りいたします。1議案（8）議案第29号、立川市第5次子ども読書活動推進計画（案）は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○飯田教育長 異議なしと認めます。よって、1議案（8）議案第29号、立川市第5次子ども読書活動推進計画（案）は承認されました。

---

### ◎協 議

（1）「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（案）について

○飯田教育長 続きまして、2協議（1）「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（案）について、を議題とします。

臼井教育総務課長、説明をお願いいたします。

○臼井教育総務課長 それでは、2協議（1）「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（案）につきまして、資料に基づき、ご説明いたします。

今回は、前回までにお示しした事務局案から修正のあった活動、施策についての修正点と教育委員の皆様の評価とコメントにつきまして、2つの冊子を使いましてご説明させていただきます。

私が厚いほうの冊子の何ページと申し上げましたら、【事務局案からの修正のある活動・施策】と書いてある資料をお開きください。また、薄いほうの冊子の何ページと申し上げた場合には「令和7年度（令和6年度）教育委員の評価とコメント」の冊子をおめくりいただきますようご協力をお願いいたします。

なお、厚いほうの冊子につきましては、修正を行った活動や施策のみを掲載しております。また、集計中としていた数値を記載するなど、軽微な修正につきましては、説明を割愛させていただきます。あわせて、薄いほうの冊子で、教育委員の皆様の評価が一致している活動や施策につきましても説明を割愛させていただきますので、ご了承願います。

それでは、厚いほうの冊子の2ページ、活動の3、教育委員会の研鑽・視察に関することをご覧ください。

厚いほうの冊子では、加筆や修正等の変更箇所には下線を引いております。また、修正箇所のうち、教育委員の皆様からのご指摘で修正した箇所は二重線としておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、右の3ページをご覧ください。

こちらの変更箇所でございます。こちらのページでは、第10回教育委員会定例会で堀切委員からご指摘いただきました研修のテーマに副題を追記しております。例えば、令和6年度実績の教育委員会研修会という表にあります令和6年11月12日火曜日の研修でございますけれ

ども、もともとは「通常の学級での特別支援教育について」という記載でしたが、副題として、「困難さの理解と適切な指導や必要な支援」という文言を追記、また、下の表でも、副題のあるものにつきましては副題を記載した形といたしました。

こちらのページの説明は以上でございます。

次に、厚いほうの冊子の6ページと、薄いほうの冊子の2ページをお開きください。

2ページの中段の表になります。2、豊かな心を育むための教育の推進につきましてでございますが、こちらにつきましては、事務局案はB評価といたしましたが、3名の委員はB評価、1名の委員は、一部課題は残ったが、毎日楽しく学校へ通っている児童・生徒の割合が向上していることから、A評価でもよいのではないかというご意見をいただきまして、評価が割れております。

次に、厚いほうの冊子の8ページと、薄いほうの冊子の2ページの下段の表をご覧ください。

3、体力の向上と健康づくりの促進につきましては、事務局案はB評価といたしましたが、2名の委員は事務局評価のとおりB評価、残りの2名の委員は、給食費の無償化と食育の充実は子どもたちの健康づくりに大きな成果であるというご意見ですとか、中学生の持久力は目標を達成しているということ、また、指標はあくまで参考とするとA評価でもよいのではないかというご意見がありまして、意見が大きく割れているところでございます。

次に、厚いほうの冊子の12ページ、6、教育環境の充実をご覧ください。

こちらの施策につきましては、このタイミングで追記する部分が多くなりまして、大変申し訳ございませんでした。追記した内容といたしましては、下線部を引いたところで、教育情報システムの更改に向けまして、整備計画や調達仕様書等を作成すること、小・中学校への高速カラープリンターの導入、中学校での自動採点ソフトの導入等の取組を記載いたしました。

なお、追記後も、事務局の評価は変わらずA評価という判断をしております。

次に、厚いほうの冊子の14ページと、薄いほうの冊子の4ページの上段、7、ネットワーク型の学校経営システムの構築について、をご覧ください。

事務局案はA評価でございますが、3名の委員はA評価、1名の委員は、地域、保護者との連携については探求し、検討する必要があるのではないかということで、一部課題ありのB評価としておりまして、評価が割れております。

次に、厚いほうの冊子16ページ、9、児童・生徒の安全・安心の確保をご覧ください。

17ページの中ほどでございますが、令和6年度実績のところ、3、GPS端末購入助成の表を新たに記載いたしまして、申請件数と交付件数をお示しいたしました。

次に、厚いほうの冊子の20ページと、薄いほうの冊子の5ページの下段、12、地域人材と学習施設の有効活用について、をご覧ください。

事務局評価はA評価に対しまして、3名の委員はA評価、1名の委員は、今回、事務局が評価を上げました職員のコーディネート力につきまして、それを評価する数値基準が必要で

はないかという意見と、立川市民科講座で人材を育成することで担い手不足と市民科の教員確保が可能となるのではないかというような附帯意見もございまして、B評価と判断され、評価が割れている部分でございます。

次に、厚いほうの冊子の26ページと、薄いほうの冊子の6ページの下段、15、図書館の効率的・効果的な運営について、をご覧ください。

事務局のA評価に対しまして、3名の委員はA評価、1名の委員は、電子図書の利用者減少の理由だけでは評価を下げなくてもよいのではないかという意見で、昨年度までと同じS評価と判断されております。また、評価とは別に、引き続き学習席の確保にも注力してほしいという意見もいただいております。

次に、厚いほうの冊子の28ページと、薄いほうの冊子の7ページの上段、16、家庭や地域での取組について、をご覧ください。

事務局の評価はA評価ですが、3名の委員はA評価、1名の委員は、子ども向けと子育て中の大人向けの事業が充実しており、子どもの頃から大人と一緒に本に接することは成長過程で重要であり、それを実践している非常にすばらしい取組ということでS評価とされておりました、評価が割れております。

修正箇所や教育委員の評価のコメントについての説明は以上となります。

次に、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」外部評価についての資料をご覧ください。

1、点検評価外部員につきましては、表のとおり、3名の方をお願いしております。3名とも、昨年度に引き続き、点検評価外部員をお願いするものでございます。

教育委員会の3つの活動と第3次学校教育振興基本計画の9つの施策につきましては、東京学芸大学の末松先生をお願いしております。

第6次生涯学習推進計画の3つの施策につきましては、白梅学園大学の朝岡先生をお願いしております。

第3次図書館基本計画の3つの施策と第4次子ども読書活動推進計画の4つの施策につきましては、東京学芸大学の今野先生をお願いしております。

2、外部評価のスケジュールといたしましては、7月14日に3名の点検評価外部員と事務局職員との意見交換を行い、7月25日までに意見交換会で出された意見も含めて総括した意見をご提出いただきます。その後の8月8日の教育委員会定例会で外部評価の内容等についてご報告する予定でございます。

長くなりましたが、説明は以上でございます。

○飯田教育長 説明ありがとうございました。

臼井教育総務課長から、評価表の修正箇所に加え、教育委員の皆さまの中で、評価が異なっている施策について説明をいただきました。

これからの質疑につきましては、まず、評価表の修正内容、全体的な書きぶり等の確認を、1つの活動、1つの施策ごとに行い、その後、評価が分かれる評価表についてご意見をいた

だき、最終的に、今の段階で評価を決定したいと考えておりますが、そういった進め方でよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○飯田教育長 それでは、厚い資料の2ページ～3ページ、活動3、教育委員会の研鑽・視察に関することの修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

小柳委員。

○小柳委員 説明ありがとうございます。

分かりやすくなってよかったですと思います。

以上です。

○飯田教育長 ほかにございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 それでは、活動3、教育委員会の研鑽・視察に関することについては、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の6ページ～7ページ、施策2、豊かな心を育むための教育の推進の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 それでは、施策2、豊かな心を育むための教育の推進については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の8ページ～9ページ、施策3、体力の向上と健康づくりの促進の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 それでは、施策3、体力の向上と健康づくりの促進については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の10ページ～11ページ、施策5、学校運営の充実の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 それでは、施策5、学校運営の充実については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の12ページ～13ページ、施策6、教育環境の充実の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 それでは、施策6、教育環境の充実については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の14ページ～15ページ、施策7、ネットワーク型の学校経営システムの構築の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 それでは、施策7、ネットワーク型の学校経営システムの構築については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の16ページ～17ページ、施策9、児童・生徒の安全・安心の確保の修正箇所についてご意見がございましたら、お願いいたします。

岡村委員。

○**岡村委員** GPSの端末購入助成の表を追記していただき、子どもたちの安全のためにとってもいい取組なので、それが表現されていいかなと思いました。

○**飯田教育長** ほかにございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**飯田教育長** それでは、施策9、児童・生徒の安全・安心の確保については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の18ページ～19ページ、施策10、いつでも、だれでも学べる身近な学習環境の整備の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○**飯田教育長** それでは、施策10、いつでも、だれでも学べる身近な学習環境の整備については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の22ページ～23ページ、施策13、学びと課題解決を支援する図書館の修正箇所についてご意見がございましたらお願いします。

〔「ありません」との声あり〕

○**飯田教育長** それでは、施策13、学びと課題解決を支援する図書館については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の24ページ～25ページ、施策14、くらしに役立ち利用しやすい図書館の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○**飯田教育長** それでは、施策14、くらしに役立ち利用しやすい図書館については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の26ページ～27ページ、施策15、図書館の効率的・効果的な運営の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○**飯田教育長** それでは、施策15、図書館の効率的・効果的な運営については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の28ページ～29ページ、施策16、家庭や地域での取組の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○**飯田教育長** それでは、施策16、家庭や地域での取組については、この修正内容といたします。

次に、厚い資料の30ページ～31ページ、施策19、すべての子どもが読書できる環境づくりへの取組の修正箇所についてご意見がございましたらお願いいたします。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 それでは、施策19、すべての子どもが読書できる環境づくりへの取組については、この修正内容といたします。

次に、評価の分かれた活動及び施策を中心に協議を行い、最終的に案として評価を確定したいと思います。

薄い冊子をご覧ください。

まず、2、豊かな心を育むための教育の推進ですが、事務局案がB評価でございます。委員の評価が、1人がA評価、3人がB評価でございます。

B評価の方のコメントは、さらに課題がありますということかと思えます。A評価については、結果を高く評価した評価になっていると考えますが、委員の皆さま、追加でご意見などありましたら、お願いします。

岡村委員。

○岡村委員 委員の意見も事務局も課題としているのは、いじめ問題への取組ですよ。

A評価は道徳授業地区公開講座の参加人数が増えている、楽しく通っている、学校に来る子どもたちが増えているというところの評価で、また視点が違うところにあると感じます。どっちがいいとか、そういう意見ではないのですけれども、視点が違うのかなというところでは。

○飯田教育長 ほかにございますか。

B評価の皆さまは、先ほど述べたように、課題を提示してくださっています。A評価の委員のコメントも課題を提示してくださっているという感じを受けますが、いかがでしょうか。

岡村委員。

○岡村委員 A評価の委員のコメントを読むと、いじめ未然防止への取り組みの保護者の評価については課題が残っているということで、ほかの方も事務局も課題のところでのいじめの未然防止が課題ということですから、課題が残るということで、B評価かなという意見です。

○飯田教育長 なかなか数字で表すことが難しい分野だとは思いますが、課題が残っており今後への期待ということで、B評価でよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○飯田教育長 では、2、豊かな心を育むための教育の推進は、B評価で確定させていただきます。ありがとうございました。

次に、3、体力の向上と健康づくりの促進ですが、事務局案がB評価でございます。委員の評価が、2人がA評価、2人がB評価でございます。この評価について、追加でご意見がありましたらお願いいたします。

堀切委員。

○堀切委員 私はB評価をつけたのですが、A評価の委員のコメントを見て、確かに、給食についてはA評価でいいと思っているので、私もA評価でもいいかなと思いました。

以上です。

○飯田教育長 いかがでしょうか。

伊藤委員。

○伊藤委員 毎年評価をしています。S評価は予定よりもよかったよね、この結果は全然予想しないくらいよかったよねというときで、一生懸命取り組んで成果が出たらA評価で、B評価は一生懸命取り組んだけれども、もう少し課題が残っているというとき、C評価は取り組み方や方法が違うのではないかというレベルのとき、市が健康づくりに対して一生懸命取り組んでいることは分かるのですけれども、「体力の向上」と「健康づくり」という2つが並行してあったときに、健康づくりのほうは、本当に目標に達しているのかという判断が難しく、目標の数値がある中で、いつも体力のところではやはり少し課題が残るかと思いますので、私はB評価でいいのではないかなと判断し、B評価にいたしました。

以上です。

○飯田教育長 ほかにご意見ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 では、ほかにないということですので、伊藤委員のご意見をふまえ、B評価ということではいかがでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○飯田教育長 ありがとうございます。

それでは、B評価で確定とさせていただきます。ありがとうございました。

次に、7、ネットワーク型の学校経営システムの構築ですが、事務局案がA評価でございます。委員の評価が、3人がA評価、1人がB評価でございます。この評価について追加でご意見がありましたらお願いいたします。

堀切委員。

○堀切委員 質問です。この薄い冊子の4ページと5ページを見たときに、7と12の施策に対して、B評価をつけている委員がいて、この2つの施策は地域との協力という意味で、とても似ていて、頑張っているけれども課題もたくさんあるところだと感じています。それぞれ指導課と生涯学習推進センターが担当ということですが、そこで連携して何かしていく、次の一歩は、次の課題はこの辺りにあるなど、課題を共有しているようなところはありませんでしょうか。

○飯田教育長 寺田指導課長。

○寺田指導課長 学校の各団体であるとか、企業等の連携につきましては、学校サイドも新規開拓を進め、広げていっているところで、数値的にも大幅に件数が増えているかなと思っています。生涯学習推進センターとの連携も一定程度できておりまして、学習支援や人材の提供等もしていただいているところですので、より密に、様々な学校が連携を図れるようにということを、教育委員会としても、各学校に情報提供しながら進めてきたと考えております。

以上です。

○飯田教育長 堀切委員、いかがですか。

○堀切委員 ありがとうございます。

例えば学校運営協議会が平成31年度に全校でコミュニティ・スクールになったと思うのですが、うまく機能させていくためには、研修をして、委員の役割とはこういう役割ですよということを周知するようなことを継続的に行う必要が恐らく本当はあると思うのですが、例えば、学校運営協議会の委員に対する研修などはあるのでしょうか。

○飯田教育長 寺田指導課長。

○寺田指導課長 コミュニティ・スクール立ち上げ当初の数年間は大々的に研修を進めておりました。ただ、それ以降は各学校で学校運営協議会の委員の皆さまに対して、コミュニティ・スクールの趣旨であるとか、地域学校協働本部、協働活動との一体化というところは、学校を通して説明しているところでございます。

以上です。

○飯田教育長 堀切委員。

○堀切委員 学校運営協議会の、存在についてもあまり知らない、地域学校協働本部についても分からないという保護者はとても多いです。学校運営協議会がどういう目的で活動していますということが分かるような案内、パンフレットみたいな、そういうものはあるのでしょうか。

○飯田教育長 寺田指導課長。

○寺田指導課長 立川市教育委員会独自でパンフレットをつくっているということはありません。周知であるとか、取組の様子などを、一定程度伝える必要はあるかなとは感じております。

前回もお話ししたとおり、学校運営協議会というのは、地域で子供たちをどう育てていくかという目標設定をしており、地域にもその目標を周知する必要がございますので、学校を通してホームページや学校便り等含めて、そういった目標の確認等の必要はあるかなと思っております。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございます。

堀切委員。

○堀切委員 よろしくお願ひします。

たまたま昨日、調布市の教育委員の方とお話したときに、こういうコミュニティ・スクールの案内みたいなものがあると伺いました。それにはどうしてこういう取組が必要なのかということから、子どもたちにとってどういうメリットがあるか、学校にとってどういうメリットがあるか、保護者にとっても、地域全体で子どもが育てられているという安心感がありますよとか、交流ができますよとか書いてあり、そういう内容が書いてあるものがあると分かりやすい、これはとてもいいなと思いました。必ず保護者も1名入らなければいけないことに恐らくなっていると思いますので、こういう分かりやすいお知らせなどをつくって

ただけるといいのではないかなと思いました。そのため地域のことについては課題がとてもあると思っています。

なので、頑張っているというところを見ればA評価でもいいような気がしますし、課題がたくさんあるという意味ではB評価でもいいと思います。

以上です。

○飯田教育長 ほかによろしいですか。

伊藤委員。

○伊藤委員 今回の堀切委員のご意見、とてもいいと思います。地域と学校という関係は本当に難しい問題があったり、とてもうまくいっている場合もあったりするのですけれども、ただ、こうやって評価をする立場からすると、できればA評価にしたいという気持ちがあります。それぞれやはり一生懸命取り組んでくださり、それから、特に副校長先生や、学校運営協議会の方々がよく活動をしてくださることは、事実だと思うのですけれども、一部でそうではない方もいらっしゃる、100点満点は難しいと分かっており、その気持ちがあつて私もA評価をつけました。

ただ、やはり難しい問題を、抱えていることは確かだと思いますので、より一層頑張って、地域の方々和学校とのつながりがよくなることに期待をしたいなと思っております。

以上です。

○飯田教育長 ほかにございますか。

岡村委員。

○岡村委員 私はB評価をつけました。

よく取り組んでいただいていることも、よく分かっています。ただ、もっと期待しているのです。私も六中と八小に教員としていましたけれども、頑張ってくれている地域の方々はたくさんいて、放課後クラブや学童、立川市民科の講師の方々、90代の農家の方に来ていただいて、繭や蚕のことについて、とても楽しい授業をしてもらったりもしました。そういう素晴らしい方がたくさん地域にはいて、協力していただける方々はもっといると思うのです。私のように定年退職した後、私は団地に住んでいるのですけれども、一日中家にいるけれども、あの人もっといろんなことできるなと思う方々がまだいる、見えているのです。

そういう意味で、まだまだもっと多様な方々がいると思いますので、固定的ではないですけれども、いつも同じ方たちだけではなく、さらに広げていけたらいいなと思います。

堀切委員から質問が様々出ましたけれども、伊藤委員のおっしゃられたとおり、よくやっているというA評価、A評価だから万歳ではなくて、これからも頑張っていくという意味でのA評価ということでもいいかなと思います。

○飯田教育長 小柳委員。

○小柳委員 すみません。

令和2年からずっとA評価なので、大変評価を下げづらいのですが、正直言うと、B評価寄りのA評価という感覚でいます。

ネットワーク型学校経営システムをつくることを目的としており、その中で地域と学校は対等だと思うのです。今の様子を見ると、学校が主導で、授業を連携していきましょとお願いをして、それに同意してくれた企業や団体が、連携してくれているという状態だと思います。

でも、実は、企業や団体、保護者たちが「こんなことをしてみたいのだけれども、学校はどうかな、一緒にやってくれるかな。」のように、一方通行ではなくて、逆から来るオファーに対して、学校も「その提案いいですね。」みたいな双方向の関係がネットワークなのかなと思っています。先ほども申し上げたように、今は学校がこうしてください、ああしてくださいと主導している、こういう協力してくださいといって立川市民科をつくっているけれども、立川市民科に特別講師として、例えば、国立国語研究所の人が来るとか、国立極地研究所の人が出張で授業してくれるなど、そういった、地域側からもこんなことを学校とやりたいという関係があって初めて対等なのかなと思うので、立川市民科も始まったばかりで、模索しながら、先生方が大変苦勞して頑張っていることも分かるのですが、ネットワーク型のということでしたら、B評価でもいいのかなと、他の委員の方の意見を聞いて思うようになってきました。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございます。

ほかに委員の皆さん、よろしいですか。

堀切委員。

○堀切委員 小柳委員の意見で思ったのですけれども、コミュニティ・スクールの導入を教員の働き方改革につなげてほしいと、昨日の市町村教育委員会研究協議会で文部科学省の方も言っていて、学校・教師が担う業務に係る3分類と、先程の計画にもあったのですけれども、例えば、登下校に関する対応などは学校以外が担うべきだというふうに今分けられているので、その部分の協力を学校運営協議会とか、地域学校協働本部で受け持っていただくとか、地域ボランティアとの連絡調整というのも、恐らく今学校の中でやっているのではないかと思うのですが、そこも外部にお願いして行ってほしいです。こういった部分も今学校が動いているのでしょうか。

○飯田教育長 学校で連絡調整を行っています。

このシステムの中で、地域学校コーディネーターの方がしっかりと学校を開くように動いているので、ネットワーク型の経営システムの構築はされていると、私の経験では実感しています。この施策の文言としては、ネットワーク型の学校経営システムの構築についてなので、成果や立川市民科の浸透というところにまで及べば、委員の皆さまがおっしゃるような部分があり、参考になりましたけれども、ネットワーク型の学校経営システムの構築をするのは非常に大変なことなので、学校の例を1つ挙げると、学校便りを廃止してしまっ、学校運営協議会便りに一本化した学校もあつたり、それから、地域学校コーディネーターがカリキュラムにご自身と、それから運営協議会の意見を反映したりというシステムが構築され

ているという点では、システムとして構築されたというふうに理解しています。非常に大変な中、各学校はこのシステムの構築に令和6年度も取り組んできたのかなというのを事務局側も見て、評価できるところもあると思いますけれども、堀切委員や小柳委員がおっしゃるように、成果の部分まで、目的に含めるとなると、課題は残っているのかなという気はしました。

いかがでしょうか。

齋藤教育部長。

○齋藤教育部長 教育長のご説明の部分と少し重なるのですが、施策については、仕組みを構築するということを施策に挙げさせていただく中で、この5年前後の中で、コミュニティ・スクールの導入であるとか、立川市民科を教科に位置づけるというような整備の部分を、一定程度方向性を決めて進めたと思っております。

実際の効果の部分については、学校の状況、併せて地域の状況についても、例えば、自治会の数が減っている、PTAがなくなっているなど、地域の中間的な組織というものも、この5年、10年で変わってきている中で、双方向によい影響をどういうふうに確保していくかというところは、社会状況の変化も含めて、今後、引き続きの課題になるのではないかと思います。この構築した仕組みを使って、この後どういうふうに効果を上げていくかという部分については、今、委員の皆さまより様々ご意見があったところを踏まえ、意識せざるを得ないのではないかとこのところでは、よろしく願いいたします。

○飯田教育長 では、いかがでしょうか。

B評価の委員の方のコメントの中には、今後につながるようなご意見が含まれていました。今までの論議を大事にしてというところで、そろそろまとめたいと思いますが、いかがでしょうか。

○堀切委員 いろいろ言わせていただいたのですが、これまでなかったシステムをゼロから構築して、形をつくってきたということで、今年度はA評価で、これ以降、形骸化しないように頑張っていくということでいいかなというふうに思います。

以上です。

○飯田教育長 形骸化しないという大事なご意見がありました。それを踏まえて、A評価ということによろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○飯田教育長 ご意見ありがとうございました。

それでは、A評価で確定させていただきます。ありがとうございました。

次に、12、地域人材と学習施設の有効活用ですが、事務局案がA評価でございます。委員の評価が、3人がA評価、1人がB評価でございます。この評価について追加でご意見がありましたらお願いいたします。

小柳委員。

○小柳委員 B評価をつけたのは、私です。

やはり文章で職員のコーディネート力が上がったと言われても、証拠といえますか、何か分かることがないと納得できないと思いました。

この生涯学習の関係の講座、「きらり・たちかわ」や市民交流大学などは、入り組んでいて難しく、市民に伝わりづらいところもあると思います。立川市民科講座を開催していると思うのですが、これは「立川のまちを知る、関わる、貢献することの大切さを学ぶ」ことをテーマに、と厚い冊子に書いてあるのですけれども、それならばこれを学んだ後に、学校の立川市民科とつなげて何かできないかなと思いました。学校で1コマだけ講師として授業をしてもらって、その間先生はお休みできるとか、そんなことができるのか私は分からないのですけれども、そういう外部の方が教えることで、さきほどの7番と少し重なるのですけれども、先生は別の仕事ができ、働き方改革にもつながるのかなと思いました。もう少しいろいろできることがあるのではないかと考えています。

人との交流の面で課題があるのではないかということ、それから、そういう市民科講座とか、「きらり・たちかわ」や市民交流大学の案内で、例えば、赤ちゃん向けの講座はこれですとか、高齢者向けの講座はこれですとか、何か年齢で分けるなど、もう少し整理が必要かなと思っており、課題があると思うので、私はB評価をつけました。

以上です。

○飯田教育長 ほかにご意見ございますか。

いかがですか。

伊藤委員。

○伊藤委員 21ページの指標にあるように、地域学習館の利用者数、学習等供用施設の利用者数を見て、生涯学習推進センターが取り組んできた努力が少しずつ認められているのではないかなと私は評価をしました。

いつも参加者が少ないなど、なかなか難しい状況で、学習有効利用ということになって、どれが有効利用で、どこがうまくいっていないなど、何となくささやかれていた中、このところ、努力により随分変わってきたと思っており、私は1つ進んだのではないかなという評価としてA評価をつけました。

ですが、まだ十分ではない部分もある、それから、効果が想定外に上がりすぎたというS評価ではないという形で、今年はA評価で考えたいと思いました。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございます。

教育の分野はなかなか数値のみでは評価することが難しい場面が多いですけれども、この施策は令和2年度から5年度までB評価だったのですが、今年は事務局案で目標水準に達しているということでA評価を付けています。その点も踏まえて、委員の皆さま、またご意見いただければと思いますが、いかがですか。

岡村委員。

○岡村委員 教育委員のコメントを読むと、一番上は、まだ多くの専門性を持った方々がいる

ので、協力を求めてほしいとあり、そのほかも、立川市市民科の教員の確保が可能だと思いう意見であったり、一番下のコメントも、保護者の中には声のかけ方次第でもっと協力がいるので声をかけてほしいといった意見が出ています。それに対して、事務局の課題としては、歴史的文化の継承の分野などにおける担い手不足を挙げていますよね。立川の歴史を知っている方というのは確かに少なくなってしまうとは思いますが、けれども教育委員の皆さまは、地域にはまだまだ協力できる方がいると感じています。私は地域の歴史に関する講演などを聞きに行くところが好きで、よく行きますけれども、専門的な方は少なくなっているのですが、地域の歴史や文化を調べることが好きな私ぐらいの世代の方は結構います。専門家のように詳しくは教えられないけれども、という方はいるのです。そういう方に講師を頼んだこともあるのですが、なかなか学校で講師まではできませんと、こちらはできると踏んでいるのですが、そういうふうな実情はあるかなと思います。

指標的にはA評価でも全て万歳のA評価というよりは、担い手不足という課題に対して、まだいろいろ協力はできるよという議論を踏まえ、課題をきちんと頭に残しておいてのA評価ということなのかなという気がしました。

○飯田教育長 A評価でよろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

○飯田教育長 いろいろなお意見ありがとうございました。

それでは、A評価で確定させていただきます。

次に、15、図書館の効率的・効果的な運営ですが、事務局案がA評価でございます。委員の評価が、1人がS評価、3人がA評価でございます。この評価について追加でご意見がありましたらお願いいたします。

堀切委員。

○堀切委員 今年S評価からA評価になった理由はどういうところでしたでしょうか。

○飯田教育長 黒島図書館長。

○黒島図書館長 こちらの評価理由に、評価を下げた理由は書いていないのですが、27ページの令和6年度実績を見ていただきますと、たちかわ電子図書館の利用状況の実績値が減少傾向にあるというところで、利用の促進が少し足りていないのかなというようなところを踏まえまして評価を1つ下げています。先ほど、予見もしなかったような結果が出たときにS評価というようなご意見もございましたので、引き続き、水準には達しているのだけれども、予見もしていなかったような結果ではないというようなことでA評価にさせていただきました。

以上です。

○飯田教育長 ほかにご意見はよろしいですか。

小柳委員。

○小柳委員 S評価をつけたのは私です。

図書館はネイチャーブレイクなど、進化しようと、いろいろなことに取り組んでみようと、

考えてくださっています。それなのに電子図書館の利用者が少し減ったからA評価というのは少し違うかなと思い、S評価にしました。

図書館には電子と紙の図書両方あって、選ぶのは利用者であって、別に、電子図書館の利用が下がったことは、図書館のせいというわけではないかなと思いますし、いろんな取組をされて、よくしようとしていることが分かるので、私はS評価にしました。

以上です。

○飯田教育長 ほかにいかがですか。

齋藤教育部長。

○齋藤教育部長 少し事務局案を補うような形でお話しさせていただければと思います。まず、電子図書館の利用状況について、数値で前年度と比べた場合、減っていることは1つ事実かなとは思いつつ、私個人としては、電子図書館の利用が著しく低調になったというふうにはあまり思っておらず、ある程度定着していつているのかなというふうには、積極的に評価しているところでございます。

これまでの令和2年度以降の評価について、S評価であることについては、電子図書館自体の導入が令和3年1月、令和2年度中ということで、コロナウィルス感染症という想定外の状況等がある中で、電子図書館という取組に新たに取り組んで、仕組みをつくりつつ、またそれを定着させるために、例えば、児童・生徒向けの利用カードの配布を始める、学級で複数人が読めるように読み放題のセットを入れるといった工夫をその都度、毎年度重ねてきた中で、毎年度、S評価をいただいていたのかなと理解しております。

また、今回の評価の中でも、ネイチャーブレイク、これも全く新しい取組で、そういったところを積極的に小柳委員から評価していただいております、非常にありがたいのですが、一定の高い水準で整備、運用が進んだものが、ある意味、令和6年度はその内容を維持したというS評価に及ぶまでの特別感があるところまでは、いかなかったのかなという中で、事務局の評価をさせていただいていると理解しているところでございます。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございます。

小柳委員、A評価でよろしいですか。

○小柳委員 はい。

○飯田教育長 いろいろなご意見ありがとうございました。

それでは、A評価で確定させていただきます。ありがとうございました。

次に、16、家庭や地域での取組ですが、事務局案がA評価でございます。委員の評価が、1人がS評価、3人がA評価でございます。この評価について追加でご意見がありましたらお願いいたします。

ご意見いかがでしょうか。

岡村委員。

○岡村委員 S評価つけたのは私だと思います。ここに書いてあることはとても大切なことで、

大人も子どもと一緒に学ぶというか、本を通してのそういう取組というのはすばらしいなど思って、S評価をつけました。

指標が達成しているかどうかという観点でなく評価を決めました。

○飯田教育長 S評価への期待を込めたということですね。

指標もありますけれども、S評価に発展しそうなところで、事務局のほうでは数値についても細かい分析をしながらA評価としていますので、こちらはA評価でよろしいでしょうか。

[「はい」との声あり]

○飯田教育長 それでは、A評価で確定させていただきます。ありがとうございました。

全体を通して何かございますか。

堀切委員。

○堀切委員 次回の評価から、A評価にプラスとマイナスをつけられたりしないかなと思いましたが。図書館の施策はS評価に近いA評価が多いという感じ、A評価の中でも、もう文句がないという感じがします。何か特別に新しいことを始めたということでも、私は図書館の方々にすぐお伝えしていただきたいし、ほかの部署もぜひ見習っていただきたいです。

立川の図書館は、公立図書館ならではのところもしっかり突き詰めていらっしゃる、なので、民間の書店がたくさんあり、その中にソーシャルな理念を持って経営していた書店があったとしても、やはり売れる本はいい本という価値観は絶対捨てられないわけですよ、民間ですから。そういう中で、公立図書館は本が厳選されていて、私はどれだけお金持ちになったとしても、公立図書館に行くと思います。本がきちんと集められて、入替えがされている、これは物すごく高度で知的な作業を職員の方がされていると感じていますので、感謝をお伝えして、終わります。

以上です。

○飯田教育長 すばらしいご意見ありがとうございました。図書館へエールということで、図書館長に伝わったと思います。

ほかいかがでしょうか。

臼井教育総務課長。

○臼井教育総務課長 今の堀切委員の評価についてのご意見ですけれども、点検・評価につきまして、5年サイクルで計画自体が変わりますので、来年度は、少なくとも今年度の評価とは大分変わる形になります。といいますのも、個別計画を先ほどお認めいただきましたので、評価をする施策や活動自体が変わります。事務局も、他の自治体の同じような評価を参考に、もしかすると評価についても少し、目線を変えたような評価になるかもしれません。そのあたりについては少し研究をしてみたいと思っておりますので、来年は一応新しくなるということだけはお伝えさせていただきますと思います。

以上です。

○飯田教育長 ありがとうございました。

ほかにございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 では、ないようでございます。

今後については、点検・評価外部員と事務局との意見交換会の後、意見聴取を行い、8月に開催する第15回教育委員会定例会で点検・評価の最終案を提示し、そこでご意見をいただいた上で、第16回教育委員会定例会で議案として確定していきたいと考えております。

では、次に、その他に入ります。その他、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○飯田教育長 その他はないようでございます。

続きまして、1議案（1）議案第22号、懲戒等について、を議題といたします。

会議の冒頭で、本案件については非公開として取り扱うことと決定しております。傍聴の方は、恐れ入りますが、ご退室をよろしくお願ひしたいと思ひます。

暫時休憩いたします。

午後3時04分休憩

---

午後3時05分再開

---

◎閉会の辞

○飯田教育長 それでは次回の日程を確認いたします。次回、第13回立川市教育委員会定例会は、令和7年7月14日、午後1時半から302会議室で開催いたします。

これをもちまして、令和7年第12回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後3時12分

署名委員

.....

教育長